

Kurashiki Amaki

Questions & Answers

For junior high school students 25 July, 2016

天城高校の特色

I 中高一貫学校教育 学力も人間性もともに「切磋琢磨できる環境」

市立中学校等出身者と天城中学校出身者が**同じクラスで学校生活を送り**、多くの学校行事にもクラス単位で参加するので、互いに高めあい、クラスの団結が深まります。

本年度の入学生に対して行った「新入生アンケート」においても昨年同様、どちらの中学校出身者からも、学習面、学校生活の面、部活動においても、「いい刺激になる」、「とても楽しい」、「仲良くやれている」、「友達が増えた」など、非常に前向きな多くの声を聞くことができました。

II 進学重視授業編成 一人ひとりが輝くための「進度別・習熟度別授業」

単位制の採用により、自分にあった授業を選択できます。国語、数学、理科、英語において、**学習進度や習熟の程度に応じた授業**を行います。この中の多くは**少人数講座**であり、密度の濃い授業を受けることができます。

III スーパーサイエンスハイスクール(SSH)の指定

普通科・理数科ともに「国際的に活躍できる人材の育成」

将来、**国際的に活躍できる科学技術系人材の育成**を図るために、文部科学省から3期目のSSHの指定を受けました。課題研究などの取り組みを通して、大学入試・社会で求められる「課題解決能力」「プレゼンテーション能力」「コミュニケーション能力」が育成されます。そして多くの人材が育ち、大学へと進学しています。

IV 熱い学園生活、思いやりの心の育成 「学校満足度90%以上」 過去3年間平均・卒業生調べ

卒業生の学校満足度が90%を超えています。文「部」両道の部活動や行事が充実しているとともに、自分の夢をかなえることができる学校、それが天城高校です。

V 進学指導体制 生徒一人ひとりに対応した「きめ細かな進路指導」

生徒一人ひとりが「高い志」をもって目標を定め、自分にとって価値ある学校、つまり「**行くべき学校**」を選び進学するための指導体制が天城高校にはあります。そのため、目標大学に対応する集団作りや「個別のニーズ」に対応した指導、さらに、高校3年生を対象に「8限補習」を実施しています。また、天城高校は1クラス当たりの教員数が他校に比べ多いのが特徴の一つでもあり、このメリットを活かして生徒一人ひとりに**きめ細かな進路指導**を行っています。

その結果、今春の大学入試では、高い成果を収めました。

岡山県立倉敷天城高等学校

Open School Day 2016

7/25（月）【第1回 オープンスクール】

9/24（土）【第2回 オープンスクール】

※9/24は「何でも質問コーナー」を用意しています。

■ 普通科

Q1 天城高校の普通科の特色は何ですか。

A1 高校入学後、自分の適性や得意教科・不得意教科等を考慮しながら、1年かけて文系・理系を決定することができます。つまり、多様な進路に対応しているので、2年次から分かれる文系・理系で、それぞれの専門性を高めることができます。選択科目や学校設定科目をたくさん開講していますので、個々の希望進路に応じたきめ細かい科目選択が可能です。生徒は大学等への進学を目指し、**落ち着いた環境**の中で勉学に励んでいます。特に国公立大学進学希望者が多く、その希望が実現出来るように、**徹底した個人指導**も行われています。

Q2 科目選択はどのようになっていますか。

A2 単位制を導入することで**より幅広い選択が可能**になっているので、多様化する大学入試に柔軟に対応できます。普通科の場合、2年次以降の**類型（文系・理系）**を1年次に決定しますが、その類型選択に合わせて科目選択をします。2, 3年次には自分の進路や大学入試科目に合わせて適切な科目を選択し、効率的な学習を行います。2学期制なので、**選択科目の中には学期ごとに変更できるものもあり**、例えば、受験に必要な科目を重点的に選択したり、苦手な科目を多く選択して補強するなど、**自分に適した学習が可能**です。



また、天城高校では、大学入試に必要な科目は、**少人数でも開講**しています。芸術・体育系の進学希望者への実技指導等も行っています。

Q3 自分にあった科目選択や文理選択ができるでしょうか。

A3 1年次には、クラス担任との面談やホームルームの時間などを通して、自分の興味・関心や適性を考えます。担任だけでなく、進路指導係の先生が生徒からの相談に応じ、最新の情報を提供します。2年次以降も、ホームルームの時間などで、進路学習や科目選択のガイダンスを何度も行います。**多くのモデルプランを見ながらクラス担任と十分な面談をする時間を設けています**ので安心してください。

Q4 普通科のAFPとは何ですか。

A4 主に学校設定教科「サイエンス」(1年次)で行っている課題研究です。Amaki Future Project の略でAFPと呼んでいます。4～5人のグループで研究をし、論文にまとめたり、ポスター発表もすることで、大学入試・社会で求められる「課題解決能力」「プレゼンテーション能力」「コミュニケーション能力」を身につけることができます。また、研究を通して、普段の授業では勉強できない希望進路への専門的な知識を得ることができます。従って、**この課題研究で学んだこと、得たこと、さらに経験したことが、高校3年次の進学先の決定に大きな影響を与えます**。生徒にとって、非常に有意義な時間となっています。

平成28年度の普通科課題研究AFP

テーマ例 「水中における球体の落下運動」「割れにくいシャボン玉を作る」
「ハチミツとたんぱく質関係」「ペクチンと2価の金属イオンの関係性」
「植物の栽培環境における成長の変化」「刺激を与えられたメダカの反応」
「外的要因による人の視線の誘導」「伝える手段の違いが与える感情変化の比較」



■ 理 数 科

Q1 「理数科」は「普通科」と、どう違いますか。どのような生徒に向いていますか？

A1 理数科では**入学時から数学・理科に重点を置いたカリキュラム**を組んでおり、コンピュータを使った授業や実験、校外での実習、生徒が主体的に取り組む**課題研究**など、質、量ともに充実しています。そのため**理科・数学の研究に強い興味・関心**をもち、**将来は理系の大学に進学することを、高校入学時から希望している生徒に向いています。**

Q2 創生研究・発展研究・論文研究とは何ですか。

A2 創生研究は、研究活動をしながらか、科学研究の基礎(科学的な考え方・研究の進め方・情報の集め方や管理)などを学ぶことができます。発展研究では研究内容を発表できるレベルまで発展させる手法を通して、大学入試・社会で求められる「課題解決能力」「プレゼンテーション能力」「コミュニケーション能力」を身につけることができます。また、論文研究は科学論文作成を軸に研究成果をまとめ、発表をしていきます。

充実した機器・設備を使って、自分の興味のある分野を時間をかけて深く探究することができます。10～15名の指導教員と、**岡山大学との連携**による大学教授、大学生、大学院生、留学生などの協力を得ながら、少人数のグループに分かれて研究に取り組んでいます。

Q3 大学進学に有利ですか。

A3 普通科に進学して2年次から理系を選択した場合と同様の進路が考えられますが、大学の理系学部の入試では理科・数学の配点が大きく、理科・数学が得意な人ほど有利になっています。また、小論文や面接を重視する大学が最近増えています。理数科での実験・実習・課題研究などを通して学んだ**深い知識や研究の実績は大学入試に直結**しており、推薦入試やAO入試では特に大きな成果を上げています。

単位制であるため理数科も科目選択の幅が広がり、国語・数学・英語の3教科を重視した選択も可能になります。

課 題 研 究のテーマ例	
【物理分野】	糸電話の物理的性質についての研究 回転台を用いた液体の粘度の測定
【化学分野】	発光バクテリアの発光条件の制御 炎色反応の発光順序に関する評価方法の検討
【生物分野】	倉敷天城高等学校周辺における野鳥の棲息状況についてのラインセンサス法による調査
【数学分野】	中高生の家庭と学校における自我状態の違いについて
理数科校外研修の活動内容	
蒜山の自然とテクノロジーに関して体験を通して学び、プレゼンテーションにまとめて発表します。 ・蒜山の植生調査 ・岡山大学地球物質科学研究センター研修（講演会、高圧実験、施設見学） など	

■ スーパーサイエンスハイスクール（SSH）

Q1 スーパーサイエンスハイスクール（SSH）とは何ですか？

A1 **将来、国際的に活躍できる科学技術系人材の育成を図るために、文部科学省が指定をした学校**のことです。平成17年度に初めて指定を受け、平成22年度からさらに5年間の指定、そして昨年度3期目の指定を受けました。多額の教育予算のもと、水準の高い実験、体験活動、科学研究者による講演など、充実した学習活動を行っています。これまでの取り組みにより、多くの人材が育ち、大学へ進学しています。

Q2 国際交流について教えてください。

A2 2年次に姉妹校である**米国バーストリー校への短期研修**を行っています。これは科学交流を目的とした事業であり、事前に英会話や英語のプレゼンテーション研修もあり、非常に有意義な行事で、普通科・理数科ともに参加が可能です。また、姉妹校の生徒の来校など、天城高校ならではの国際交流の体験をする機会に恵まれています。

Q3 他にも SSH 行事はありますか？

A3 毎年数回、**スーパーサイエンスセミナー**を開催しています。これは科学技術への興味・関心を高めるための行事であり、大学などの施設見学や、外部講師による講演会などを行っています。

昨年度は、京都大学教授の大野先生をお招きして講演会を実施しました。また京都大学、大阪大学研究室を訪問したり、OSAKA スーパーサイエンスツアーも実施しました。**興味・関心がある生徒であれば、誰でも参加できます。**

■ 学校生活・行事

Q1 部活動は盛んですか。また、勉強と部活動は両立できますか。

A1 天城高校では、どの部も活発に活動しています。平成28年度は、運動部では、水泳部が全国大会に、アーチェリー部・水泳部・ハンドボール部・陸上競技部が中国大会に出場しています。また、文化部では囲碁・将棋部・書道部・美術部が全国大会に出場します。



天城高校には「**勉強と部活動の両立**」をモットーに、集中力を高め、時間を有効に使って充実した高校生活を送っている生徒が大勢います。

毎年、国公立大学合格者の多くが部活動に積極的に参加しており、難関大学にも多数合格しています。

●「東雲祭」高校ブロックパフォーマンス●

Q2 修学旅行について教えてください。

A2 天城高校の修学旅行は、**生徒にアンケート**をとりながら、より充実した魅力あるものを目指しています。平成26年度は**東北・北海道**で震災の学習を盛り込みました。平成27・28年度は北海道で大自然の魅力を満載してきました。平成29年度も北海道に行くことが決定しています。

Q1 入試制度はどうなっていますか。

A1 平成28年度の募集人員は、天城中学校からの進学希望者を募集定員から除いた数で、普通科105人、理数科17人の合計122人でした。

平成28年2月に実施された特別入学者選抜では、理数科の募集人員の100%に当たる17人を募集し、17人を合格内定者とししました。2月の特別入学者選抜で理数科の募集人員が満たされたので、3月の一般入学者選抜では、普通科105人のみを募集し、理数科の募集は行われませんでした。したがって、**理数科を希望される方は特別入試から受検してください。**

平成26年度の入学者選抜から、自己推薦による入学者選抜は廃止され、普通科は3月の一般入学者選抜のみとなっています。理数科は2月に特別入学者選抜を行い、募集人員の100%を募集します。なお、特別入学者選抜では、学力検査(国語・数学・英語)、面接に加えて、口頭試問(実験を含む)が行われます。特別入学者選抜についての詳しい情報は、学校説明会などでお知らせします。

Q2 定期テストや評価はどうなるのですか。

A2 進度別授業を行っている科目では、講座により授業範囲が異なるため、定期考査は**別問題を実施します**。共通の範囲の場合は、共通問題もあります。各講座によって、**評価の有利・不利は全くありません**。安心して選択することができます。

■平成28年度年間行事(予定)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
入学式 部紹介 集団宿泊研修(1年) 春季球技大会(2・3年)	生徒総会 地区総体	県総体 AFP発表会(2年普通科) 社会貢献活動 修学旅行(2年)	第1回オープンスクール 三者懇談 理数科校外研修(1年)	学習セミナー(全学年)	東雲祭(文化・体育の部) 第2回オープンスクール
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
創立110周年記念式典 海外姉妹校研修 学校説明会	運動部合同トレーニング 社会貢献活動	課題研究発表会(理数科) 保護者懇談 三者懇談 冬季球技大会(1・2年)	百人一首大会 (1・2年) ｽｷｰｽﾛｰﾎﾞｰﾄﾞ教室 (1年) 課題研究発表会(理数科)	岡山県課題研究合同発表会(理数科) 特別入学者選抜 (理数科)	卒業式 一般入学者選抜 合格発表

オープンスクールやその他のお問い合わせは、倉敷天城高校 総務課までお願いします。